区政報告レポート ほんめの"眼"~川〇MMESEУE~

発行:台東区議会議員 本目さよ 東上野4-5-6-7F

骨髄移植ドナーへの補助が来年度予算化の方向

骨髄移植で適合するドナー(骨髄提供者)が見つかる確率をご存知ですか?平成27年度では、95.9%の患者に移植が可能な適合者がいました。想像よりも高い確率ではないでしょうか?しかし、移植率は54.6%にとどまっています。理由はさまざまだと思いますが、その一つが経済的なことだと言われています。東京都では、11の自治体で骨髄提供者に対する補助制度を導入しています。ドナーには1日につき2万円を超えない額、ドナーが従事する事業所等には1日につき1万円を超えない額、日数は通算7日を上限としています。台東区でもやるべきでは?と提案したところ、「来年度実施に向けて準備をしている」と、区長からの答弁。命を救うための後押しが少しでもできますように。

自分の身体を知ること

健康であるためには、自分の身体と心をよく知ることがまずは大切です。 視察で伺った文京区では中学生向けに 「自分の身体をしっかりと知ること」を 目的に、ハッピーベイビープロジェクト の一環としてオリジナルの教材を配布している。他自治体での配布もかまわない と視察時に伺ったので、台東区でも配布 したらどうか?と提案。



社会的インパクト投資

行政サービスを民間に委託し、その 資金を投資家から募り、事業が成果 を上げたときに投資家にその分を区 が還元するという社会的インパクト 投資(ソーシャルインパクトボン ド)について、国はモデル事業を実 施している。行政コストの削減とよ り質の高いサービスの提供につなが るのではないか?と提案。



骨髄ドナー登録できる 場所

常設の献血ルームで登録が可能です。台東区で近い場所は、有楽町献血ルーム・秋葉原のakiba:F献血ルーム・スカイツリータウンソラマチの献血ルーム feel・献血ルーム池袋い~すとなど。詳しくは日本骨髄バンクのHPへ!http://www.jmdp.or.jp/

活動を台東区政に活かします



私たちは<mark>『買われた』展が一般社団法人Colaboの夜の街歩きスタディツアーに若手の議員で参加。</mark>夜の繁華街を歩き、身近にありながら大人たちの目には見え<mark>にくい少女の現状を見て解説してもらいました。</mark>

状を見て解説してもらいました。 貧困や虐待とのつながりなど、直視することが辛い現状もありましたが、非常に勉強になりました。



文京区にハッピーベイビープロジェクトの視察に。ここで、上記の中学生向けのオリジナル教材について区長から配布してもいいですよ!との許可をいただきました。

ここから上記の1の質問につなげまし た。



私が代表を務めている「政策実現ができる女性議員を増やす」ためのネットワークWOMAN SHIFTが、マニフェスト大賞の特別賞を受賞しました。クリエイターの箭内道彦さんから頂きました。自治体を超えて政策実現ができる女性議員が増えることで、台東区だけではなくて社会をよくするために引き続き頑張ります!

社会教育館の管理者が変わります - 委員会報告 -



実現!/

以前から私が提案してきたワークライフバランス認定企業制度が今年度から始まり、認定企業が5社できました! 少しづつ働き方改革もすすめます。



アズビルから変更に

指定管理者が変更になりますが、多くの区民の方々からの要望をいただいたサークルフェスタは継続の方向と、しっかりと確認を取りました。事業者の自主事業ということで心配でしたが、引き続き行っていくということでほっとしています。



今年も三歳児の待機児童は増えそうな予感・・

区立幼稚園の申請数が昨年に比べて減少。区内の私立幼稚園の申請数は特にめだった増減はないということ。つまり、保育園の申請数が伸びる可能性があります。 $3\sim5$ 歳児園が上野桜木にOPENしますが、まだまだ三歳の壁が厚そうです。「園バス」「給食」「延長保育」の三種の神器は10年以上前から言われています。せめて預かり保育を実施するなどの対策を!と以前から言っていますが、力不足で・・

NEWS ≫情報推進化計画や生涯学習プラン



情報推進化計画が来年度から改定

これからの時代、避けては通れない情報通信政策。私たちの日常にもスマホやインターネットの普及に伴って、当たり前 のように存在します。一方で自治体の情報通信政策はどうしも後手に回りがち。もちろん区民の方が全員最新の情報技術 が活用できる必要はありませんのでご安心を。情報技術を通じてもっと便利に安心に。来年度から五年間の計画をいま、 台東区では策定しています。生涯学習推進プランなどのその他の計画も来年度から改定予定です。

本目さよは「こども」「女性」「開かれた区政(ICT」を3つの政策の軸としているためしっかりと注視していきます!



行政でもペーパレス化!

議会でもペーパレス検討委員会のサブリー ダーとして活動していますが、今回の計画 には行政側も「タブレット型端末の導入に よるペーパーレス化」という項目が入りま した。職員用パソコンとしてタブレット型 端末を導入し、ペーパーレス会議等を実施 することで、業務の効率化、情報共有の迅 速化と印刷コスト、紙の保存スペースの削減を図ります。一般社会に比べると周回送 れですが、第一歩!



セキュリティ(安全・安心)の強化

セキュリティ確保は最重要事項の一つ。企業の情報流出のニュースが流れない年 はありません。また、大震災のときに住民の情報がなくなってしまって困ったと いう話も聞きます。何かがあってもデータが安全に残っている状況が望ましいで すよね。台東区クラウド・データセンターへのシステム移行を進めていくとの項 目が入りました。庁舎内にデータを置いておくためには技術力が高い人材を自前 で持ち、さらに庁舎に何かあったときでも大丈夫な頑丈な場所が必要です。一方 で専門のデータセンターであれば、地震などにも強いしっかりした地盤の場所に あり、物理的にも情報的にも強固な場所にデータがおさめられます。その他にも、 職員の情報利活用能力を高め、行政サービスのさらなる向上を図るといった地味 ですが非常に重要なことも推進されます。





骨髄ドナーの補助、進んでよかったにゃ。 何か取り組むきっかけがあったのにゃ?



うん。実はね。名古屋市議会議員でおなじ勉強会に参 加していたメンバーが白血病で亡くなったの。35歳 でね。子どもも生まれたばかりだったんだよ。



そうにゃのか・・・



彼は4人のドナーが見つかったんだけど、結局骨 髄移植は受けられなくて、臍帯血移植をしたの。



臍帯血移植!



その上で、全国の青年議員に対して、実際に病気を 体験して見えてきた課題を教えてくれて。他の自治 他の先進事例も。



改善提案をしたにゃ?



そう。調べたら東京都では去年から事業をしてた。半 額は東京都がだしてくれるの。台東区でやらない手は ないよね。



せっかくある制度を台東区は使ってなかったにゃ。



日本骨髄バンクによると、ここ10年は毎年1人以上が、 多い年には5名の方がドナーとして提供をしてくれて いるんだって。



まずは、経済的なサポートからにゃ。しっかり周知 も必要だにゃ。

1982年3月10日生 34歳

私立成蹊高校、白百合女子大学を経て、お茶の水女子大学大学院修了 研究テーマは『夫婦の情緒的サポートと育児ストレスの関係」 修了後はIT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。

2011年より台東区議会議員。2015年に再選を果たす。台東区では唯一の30代女性議員。

声なき声を聞くという意志と、少子高齢化への特効薬としての子育て支援に力を入れていることから キャッチフレーズは「子育て、本命!一やさしい政策一」「議員のあり方」とは何か?を模索しながら区民の方々との

双方向的な取り組みを実施している。政策を実現できる超党派若手女性議員のネットワーク「WOMAN SHIFT」代表。

党籍:民進党

会派:たいとうフロンティア

資格:保育士 趣味:空手・読書 おかしづくり 好きな物:納豆・くだもの 本目さよ 連絡先

台東区東上野4-5-6-7F

MAil info@sayohomme.com 03-5834-7283 (留守電まで) Degree @sayohomme 電話 FAX 020-4666-1376





http://www.sayohomme.com/

f https://www.facebook.com/hommesayo



http://ameblo.jp/hommeisayo/